

2019年度
ブイグ事業概要

力強い進歩を
実現しよう

BOUYGUES

最大多数の日常の場で人間の進歩をもたらすことがブイグの使命です。

しかるべき倫理観に即した人間的な行動を取りつつ、日常生活のニーズを満たすことによって、社会全体の進歩を実現できるのだという信念をブイグは堅持しています。そして日々の具体的な取り組みとして、スタッフのノウハウと事業活動の多様性を抛り所に、居住、交通、通信、情報、娯楽といった基本的ニーズに応える革新的なソリューションをお届けしています。

目次

- 2 | **プロフィール**
今日のブイグ
- 16 | **建設関連事業**
人間の進歩をもたらすソリューション
- 24 | **メディア事業**
社会を前向きにインスパイア
- 28 | **通信事業**
一緒にいられるための簡単接続

表紙写真:
優れたエネルギー性能を誇る高さ152mの超高層オフィスビル「Alto」(IF Architectesがラ・デファンス地区オフィス街中心部に企画設計)

右の写真:
フランス初でヨーロッパ最大の浮体式水上太陽光発電所「O'mega1」(ヴォクリューズ県ピオランの4700 世帯に電力供給が可能)



揺るぎない優位性と力強い進歩

ブイググループは「人口増加と都市化」、「気候変動」、「デジタル転換とテクノロジー転換」、「ユーザーの利用形態の変化」という4つの大きな基本的傾向を踏まえながら事業活動を展開しています。新たなチャンスに満ちた現況において、当グループとしては、ステークホルダーたちと一緒に価値の創造と共有を図っていく所存です。

グループ傘下の5事業部門はいずれも、居住、交通、通信、情報、娯楽といった絶えず変化する基本的ニーズに応えることで成長力を上げています。そして多種多様な業務内容、安定した株主構成、さらに堅固な財務体質のおかげで、長期的なビジネス戦略を推進できています。また、自らの強みを生かして当面の環境問題や社会問題にも果敢に取り組んでいます。

ブイグは2019年度も例年に変わらず力強い進歩を遂げました。グループ全体の採算性改善、建設関連事業の上伸、TF1局の高視聴率維持、ブイグ・テレコム の差別化戦略(良質なモバイルと固定ネットワーク及び出色のカスタマー・エクスペリエンス提供)の成功が認められました。なおブイグは、持続可能なスマートモビリティのパイオニアであるアルストム社の株式13%分を、2019年9月に適切な頃合いを見計らって譲渡しましたが、14.7%は引き続き保持して同社の筆頭株主に留まっています。

他方、優れた人材活用方針を貫いてきた証として、全事業部門を対象とする「トップエンployヤー・フランス」の認証を3年連続で獲得したほか、CSRへの積極姿勢も認められて、社会的責任投資に関する選りすぐりの4つの国際インデックスに採用されています。

当グループでは、固有なコミットメントの一環として男女共同参画を優先課題にしています。と言うのも、それが欠くべからざる公正原則であるというだけに止まらず、社内で女性がもっと登用されるようになれば業績アップの効果

的な梃子になるだけでなく、将来に向けて会社の脱皮を加速させる力にもなると考えられるからです。そのために達成を目指す最終目標は、グループ内の中上級管理職の男女比率を同一にすることです。

昨今は残念ながら経済的に不安定な学生が増えています。ブイグはこの点に配慮して、フランシス・ブイグ企業財団の各年の奨学生数を60人から100人に増やして財団の役割を一層充実させました。かくして現在までに合計889人が奨学生に選ばれて、ブイグ従業員又は元奨学生から支援を得ました。こうした成果はまことに慶賀に堪えません。

最後に、全スタッフの献身的なお仕事ぶりとお客様や株主の皆様のご信頼に対して厚く御礼申し上げる次第です。

会長兼CEO
マルタン・ブイグ

4.3/12

2020年2月20

創業
1952年
総従業員数
13万500人

国際進出
92ヶ国



プロフィール

今日のブイグ

1952年に創業したブイグは多様な業務を手がける企業グループです。目下90ヶ国以上に進出して、将来有望な分野にしっかり足場を築いています。

 進行中のモナコの沖合拡張工事
(生態系考慮型設備と人工岩礁
を備えたエコデザインが特徴)

課題とチャンス



人口増加と都市化

クオリティ・オブ・ライフ（生活の質）の保持とともに、インフラ整備、刷新推進、交通網発展のニーズが拡大



気候変動

エネルギー性能と生物多様性を加味した循環型経済^(a)に基づく低炭素ソリューションの必要性



デジタル転換とテクノロジー転換

ビジネスライフや個人生活をシンプルにするリアルタイムのツールとサービスへの期待



ユーザーの利用形態の変化

ユーザーフレンドリーで、皆でシェアでき、しかもカスタマイズされたサービスを臨機応変に提供可能な進化型ソリューションへのニーズ

開発戦略

長期的な観点から、ステークホルダー^(b)と一緒に価値を創造し共有することがブイグの戦略目標です。そのため安定的な株主構成を拠り所にして戦略上のフレームワークを明確化しました。グループ傘下の5事業部門（ブイグ・コンストラクション、ブイグ・イモビリエ、コラス、テー・エフ・アン、ブイグ・テレコム）は、このフレームワークに則って、ブイググループの使命を完遂するための経営戦略を展開しています。

固有のビジネス選択

傘下の事業部門はいずれも絶えず進化を遂げながら、居住、交通、通信、情報、娯楽といった社会の基本的ニーズに応えているため成長力をしっかり保持しています。また、多角的に事業展開しているおかげで、たとえある部門が景気循環の悪影響を受けても他部門で補完できるようにになっています。

(a) フランス環境エネルギー管理庁（ADEME）によれば、循環型経済とは、財とサービスのライフサイクルの全段階において各個人の福祉を向上させつつ、資源の有効利用を促進し環境への悪影響を減少させることを目指す交易と生産の経済システムと定義される。

(b) 顧客、ユーザー、スタッフ、金融界、仕入先、下請け、民間団体など

ブイグのコミットメント

- 1 **スタッフ全員の進歩を促進**
- 2 **顧客と協力し合って持続可能なソリューションを構想**
- 3 **日々の生活をシンプルに**
- 4 **皆で享受できる快適な生活に貢献**

企業文化の基盤

男女の違いを問わず人材こそはブイググループの第一の宝です。スタッフたちは固有の企業文化の基盤に立って互いに連携しています。ブイグの企業文化は、各人のコミットメントや共通の人間的態度を奨励するものです。彼らの心構えと力量こそは成功と進歩の源泉なのです。



尊重



伝達



信頼



創造

ストロングポイント

この企業文化を誇るグループ傘下の5事業部門（ブイグ・コンストラクション、ブイグ・イモビリエ、コラス、テー・エフ・アン、ブイグ・テレコム）は、次の4つのストロングポイントを共有しています。

- 意欲的に取り組む
13万500人のスタッフ
- バリューチェーンのコントロール
- 高付加価値サービスの提供
- 国際舞台における的を絞った持続的プレゼンス

追加情報
2019年度統合レポート

長期的な戦略ビジョンに資する安定株主構成

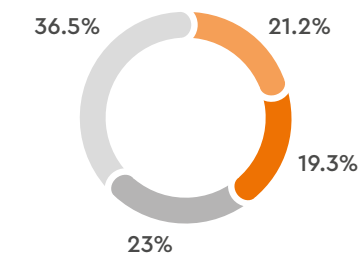
グループ株主は次の通り

- SCDM（マルタン・ブイグとオリヴィエ・ブイグの個人管理会社）
- 従業員（各種の従業員貯蓄基金を通じた株式取得）

2019年12月31日現在、5万1800人の従業員が株主になっています（従業員貯蓄基金の株式取得を認めるCAC 40種銘柄中トップ）。これは2019年末に「Bouygues Confiance n°11」のスキームを通じて、1億5000万ユーロ（額面価格とプレミアムの合計）の第三者割当増資が従業員を対象に実施された結果です。

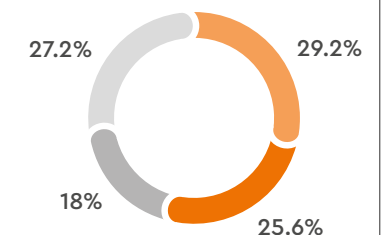
グループ株主構成 (2019年12月31日現在)

出資比率
発行済株数 379,828,120



■ SCDM^(a)
■ 従業員株主
■ その他フランス人株主
■ 外国人株主

議決権比率
議決権数 509,048,266



(a) マルタン・ブイグとオリヴィエ・ブイグの個人管理会社

コミットメントにフォーカス

CSR（企業の社会的責任）という優先課題に対応し、長期的な事業戦略を維持し、さらに将来のビジネス転換を推進するために、ブイググループは2019年度に次の4つのコミットメントを掲げました。

1

スタッフ全員の 進歩を促進

男女の違いを問わず人材こそは第一の宝であり、彼らの取り組みがなければ業績向上を実現することはできません。ブイグではスタッフを激励するために、出身、学歴、職務内容にかかわらず、彼らのビジネス活動の発展に留意して一人ひとりを大事に扱うように努めています。

2

顧客と協力し合って持続可能なソリューションを構想

ブイグが企業としての使命を達成するためには環境の尊重が欠かせません。従って、エネルギー節約型住宅やプラスエネルギー型建物の建設、斬新で環境に優しい素材（例えば木材）の選択的利用、循環型経済原理の採用、及び生物多様性の考慮などが重要になります。

3

日々の生活をシンプルに

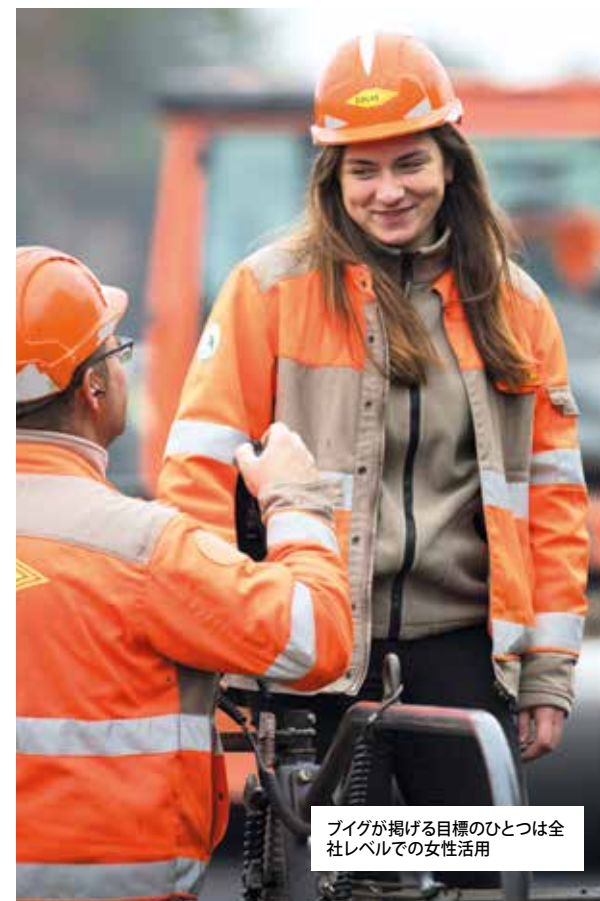
顧客やユーザーの生活をより良いものにすることをブイグは目指しています。そのゆえに、交通、通信、情報、娯楽のいずれの場合であっても、住居や街区や都市のレベルにおいて、日常シーンをよりシンプルでより快適にする各サービスの提供を心がけています。その主要な成果としては時間の節約、予算のコントロール、及び利用しやすさの向上が挙げられます。

4

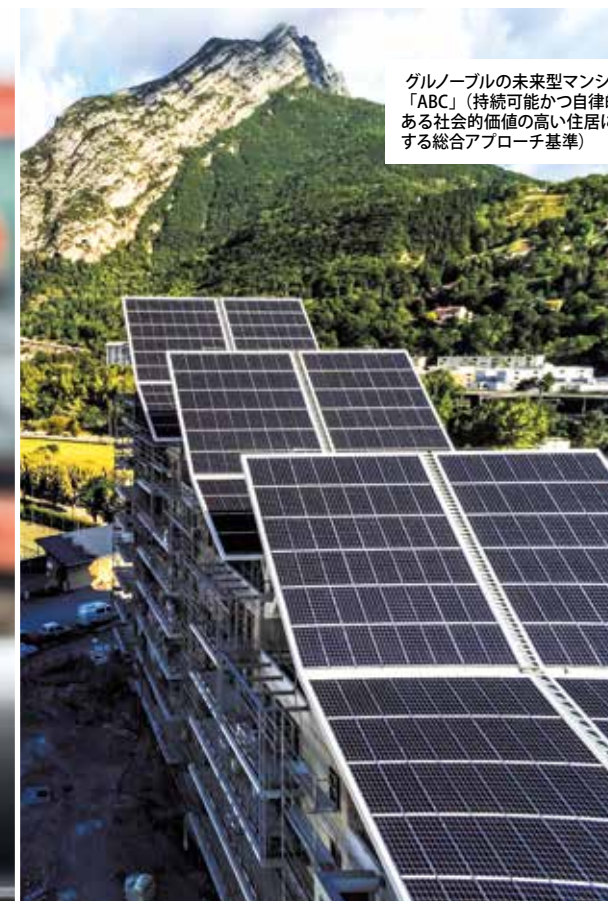
皆で享受できる 快適な生活に貢献

新テクノロジーが発達したおかげで、現代社会は成員間の相互協調が一層促進されるようになっています。そして、各地域レベルにおいては社会的紐帯を保つ必要性がますます強まっています。進歩に関する人間的観点を重視にしているブイグは、世の中の発展を牽引する重要な企業のひとつとして、交易を活発にして人間の絆を生み出すサービスを構想かつ実現してきました。

追加情報
2019年度統合レポート



ブイグが掲げる目標のひとつは全社レベルでの女性活用



グルノーブルの未来型マンション「ABC」（持続可能かつ自律的である社会的価値の高い住居に対する総合アプローチ基準）

親しい仲間たちとのつながりを維持



on est fait pour
être ensemble



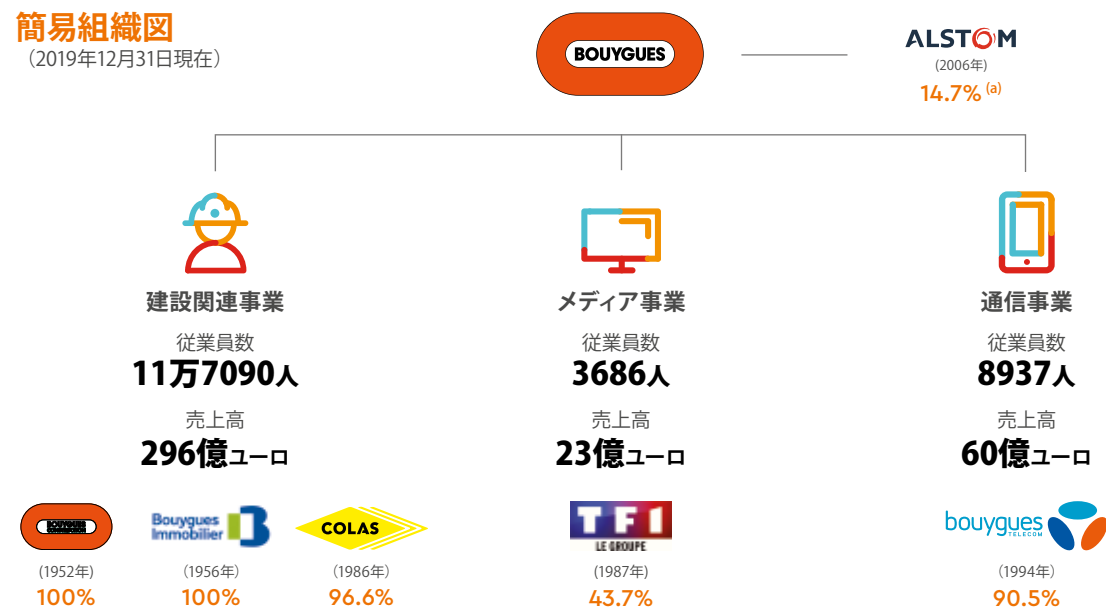
フランスブイグ企業財団の元奨学生Errahman Gourari氏（現在は会社経営者として活躍）



グループの組織

簡易組織図

(2019年12月31日現在)



(a) 2019年9月に実行した13%のアルストム株譲渡以降

経営陣

ブイグ本社

マルタン・ブイグ
会長兼CEO

オリヴィエ・ブイグ
CEO代行

フィリップ・マリアン
CEO代行

オリヴィエ・エルサ
CEO代行

パスカル・グランジェ
上級副社長
グループCFO

ジャン＝マヌエル・スツサン
上級副社長
グループ人事部長

ジル・ザンカナロ
上級副社長
デジタルイノベーションリスク部長

5傘下企業

フィリップ・ボナーヴ
ブイグ・コンストラクション
会長兼CEO

パスカル・ミノ
ブイグ・イモビリエ会長

フレデリック・ガルデス
コラスCEO

ジル・ペリッソン
テー・エフ・アン
会長兼CEO

リシャール・ヴィエル
ブイグ・テレコム
会長兼CEO

取締役会

(2019年12月31日現在)

マルタン・ブイグ
会長兼CEO

オリヴィエ・ブイグ
CEO代行

シャルロット・ブイグ
SCDM常任代表

ウィリアム・ブイグ
SCDM/パレティシバシオン
常任代表

フランシス・カスタンエ
従業員代表

ラファエル・デフレセル
従業員株主代表

クララ・ゲマール (a)
レイズ共同創立者

アンヌ＝マリー・イドラック (a)
法人理事

エルマン・ルパドセシュヴァル (a)
ヴェオリア・グループ事務本部長

コレット・ルヴィネール (a)
キャップジェミニ
会長アドバイザー

アレクサンドル・ド・ロスチャイルド
ロスチャイルド&COジェスチョン
執行役会長

ローズ＝マリー・ヴァン・レルベルグ (a)
クレビエール副会長

ミシェル・ヴィラン
従業員株主代表

58%
女性取締役比率 (b)

50%
独立取締役比率 (c)

(a) 取締役会で指定された独立社外取締役
(b) 従業員代表を除く
(c) 従業員代表と従業員株主代表を除く

グループ従業員

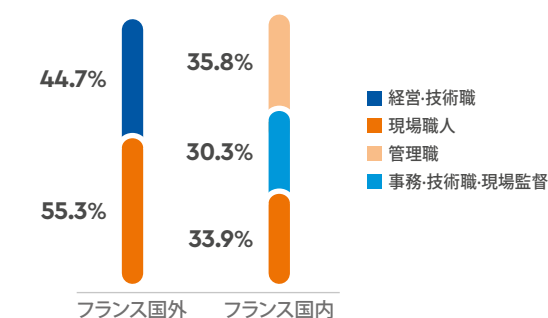
(2019年12月31日現在)

従業員総数
13万500人

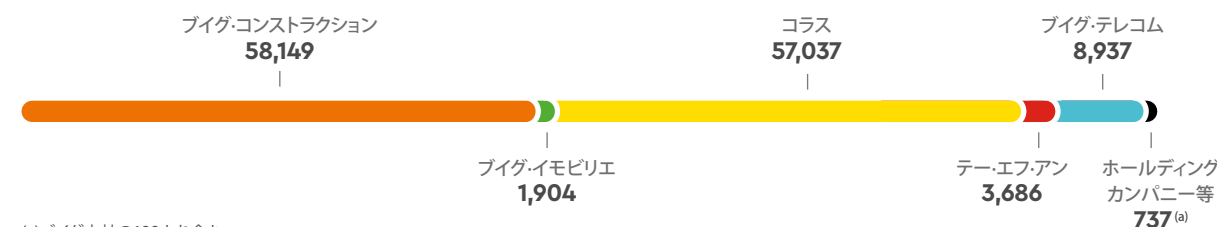
新規雇用者数
4万5000人 (13%増) (a)

(うち国内1万600人)
(a) 2018年度比

スタッフ職位

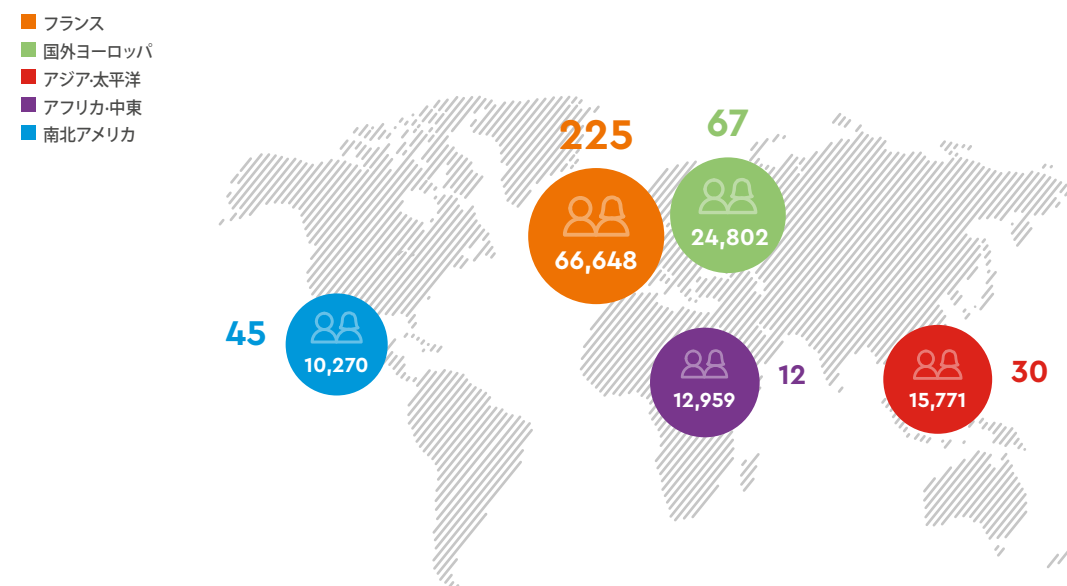


事業部門別従業員数 (人)



(a) ブイグ本社の188人を含む

地域別売上高 (億ユーロ) と地域別従業員数 (人)



追加情報
グループ総合記録資料

2019年度ハイライトと 主要データ



建設関連事業

主要受注案件

- > 九龍半島の2つの道路トンネル
- > ブライトン大学（イギリス）の学生寮
- > South Rail Systems Alliance〔南鉄道網連合〕（イギリス）の鉄道工事
- > BMW走行テストセンターのトラック（チェコ）
- > ロサンゼルス空港（アメリカ）の誘導路
- > トゥーレーヌ（フランス）の高速道路A10の拡張工事
- > プラスエネルギー型低炭素木造建物「EDA（枝）」^(a)
- > オー＝ド＝セーヌ県イシー＝レ＝ムリノーのエコタウンIssy Cœur de Ville〔イシー街の心〕
- > オクシタニー地域圏オード県ポール＝ラ＝ヌーヴェル市の港拡張工事
- > コラスが傘下のSmacを未公開株式投資会社OpenGate Capitalに譲渡

進行中の案件

- > グラン・パリの地下鉄15番線T2AとT3A区画
- > モナコの沖合拡張工事
- > メルボルンの地下鉄、シドニーのトンネル道路「ノースコネックス」及び自動車道「ウェストコネックス」建設（オーストラリア）
- > ヒンクリー・ポイント原子力発電所の欧州加圧水型炉（イギリス）
- > 屯門区と香港国際空港を結ぶ海底トンネル
- > 高速道路M25とM30線（ハンガリー）
- > ハノイ（ベトナム）とジャカルタ（インドネシア）のライトレール

引き渡し済み・利用開始案件

- > 香港に至る蓮塘トンネル
- > チェルノブイリ（ウクライナ）の原子炉を覆う新石棺
- > アンタナナリボとノシベの空港（マダガスカル）
- > ドーハの地下排水路（カタール）
- > パリ＝オルリー空港第3滑走路の改修
- > パリ17区の集合住宅「17e Ciel〔17番目の空〕」
- > ストラスブールの国内最高層木材100%マンション「Sensations（驚嘆）」（フランス）
- > ロワレ県サン＝ジャン＝ブレイの老人ホーム「Les Jardins d'Arcadie（アルカディアの庭）」
- > パリ・マドレーヌ地区のコワーキングスペース「Wojo」（Accorホテル内に「Wojo spots and corners」を初展開）



メディア事業

- > 2019年度視聴率ベスト100番組^(b)のうち84を放送（25歳～49歳の視聴者向け番組では98まで独占）
- > MYTF1でのビデオ視聴総数が18億回に到達
- > プラットフォームSalto^(c)の2020年開始が認可
- > 広告エージェンシーのUnify Advertisingがスタート
- > テレビショッピング事業のTéléshoppingを譲渡



通信事業

- > 法人向け事業（BtoB）の強化のためにKeyyo et Nerimを買収
- > 田園地帯で第1位、全国で第2位を誇る高品質モバイルネットワーク（2019年10月のArcep調査）
- > 5Gの試験プラットフォームを国内に4か所追加
- > 低価格簡易型スマートフォンの修理サービスを顧客に提供するためWeFixと提携（このサービスにより当該スマートフォンの製品寿命が延長）

- (a) 都市構想等に関する欧州最大のコンクール「Inventons la Métropole du Grand Paris（グラン・パリ都市圏を考案しよう）」²⁾で受賞
- (b) データは民間調査会社 Médiamétrie の2019年 Médiamat
- (c) 加入契約によるビデオオンデマンドサービス（TF1、France Télévisions、M6の3社が共同開発）

新地区「Nanterre Cœur Université」のプラスエネルギー型建物「Upside et Hub 24-7」



復旧工事進行中のビマール（タイ）のルート106道路



国内テレビ視聴率トップとなったTF1局放送の「FIFA女子ワールドカップ2019」



シドニーのツインチューブ式「ノースコネックス」道路トンネルの建設



2019年度業績

2019年度のブイググループは、傘下の5事業部門の確かな実績と大きなキャッシュ創出力のおかげで年間目標を達成することができました。

強力な営業活動

2019年末現在、建設関連事業の受注残高は330億ユーロと非常に高水準を維持しました。ブイグ・コンストラクションとコラスの受注残高の62%は国際業務によるものでした。当年度のTF1局は、購買決定権者の50歳未満女性の場合に32.6%の高視聴率を記録しました。ブイグ・テレコムも強い営業力をしっかり示しました。同社は2019年度中、MtoM^(a) 関連を除く定額料金プラン利用者数を新たに65万3000増やしたほか、固定分野の顧客総数390万人を確保しつつ、FTTHサービス^(b)のユーザー数を100万人の大台に載せました。

揺るぎない実績と年間目標の達成

全事業部門に牽引されてグループ売上高は前年度比7%アップの379億ユーロになりました。採算性はほぼ事前予想通りの進展が見られました。まず、調整前営業利益は前年度比1億1200万ユーロ増の16億7600万ユーロになりました。次に、Axione株関連再処理後^(c)の調整前営業利益率は2019年末現在、前年比0.3%アップの4.4%を記録しました。しかし当期純利益については、主としてブイグ・テレコムの



建設中のハノイ（ベトナム）地下鉄3番線

非経常収益低下^(d)のせいで前年度比1億2400万ユーロ減の11億8400万ユーロにとどまりました。

グループのフリーキャッシュフローは、前年度比5億5300万ユーロ増えて13億7900万ユーロを記録しました。その主因としては、アルストムからの配当収入がアップ^(e)したことに加えて、ブイグ・テレコムのフリーキャッシュフローが前年度比1億900万ユーロ増加して目標値の3億ユー

ロに達したためです。運転資金増減後フリーキャッシュフロー^(f)（アルストムからの配当収入は除外）は2018年度比倍増の8億1500万ユーロになりました。こうしてグループの財務体質が強化された結果、2019年末の純有利子負債は前年末の36億ユーロを大幅に下回る22億ユーロで済みました。アルストムからの配当金と同社株13%分の譲渡益の合計が14億ユーロに上ったことが好材料になりました。



(a) Machine to Machine の頭文字（「エム・ツー・エム」と発音される）
(b) 「Fibre To The Home＝光ファイバーを契約家庭へ」のサービス
(c) Axione株譲渡益分と2018年保有株再評価分の合計1億600万ユーロの再処理
(d) 2018年度は2億6500万ユーロだったが2019年度は2000万ユーロに激減
(e) 2018年度は2200万ユーロだったが2019年度は3億4100万ユーロに急増
(f) ネットのグロスキャッシュフロー（純有利子負債費用、リース債務利息、支払税額を控除）から正味事業投資とリース債務返済分を差し引き、5G 関連を除く事業運転資金の増減分を加味して算出

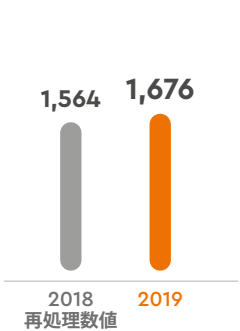
グループ財務指標

（単位：100万ユーロ 12月31日現在）
IFRS第16号とIFRIC解釈指針第23号の適用により2018年度会計を再処理

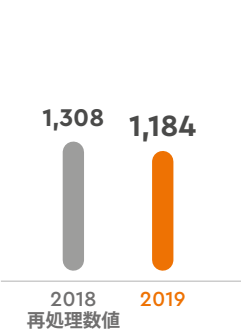
総売上高



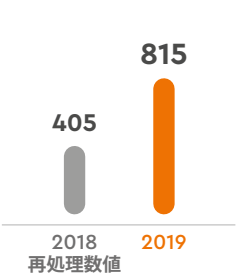
調整前営業利益



当期純利益



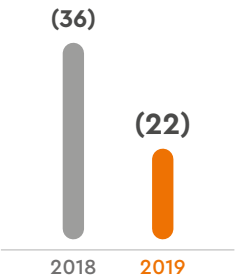
運転資金増減後フリーキャッシュフロー^(a) （アルストムからの配当収入^(b)は除外）



1株当たり配当 （単位：ユーロ）



純有利子負債 （単位：億ユーロ）



(a) ネットのグロスキャッシュフロー（純有利子負債費用、リース債務利息、及び支払税額を控除）から正味事業投資とリース債務返済分を差し引き、5G 関連を除く事業運転資金の増減分を加味して算出
(b) 2018年度は2200万ユーロだったが2019年度は3億4100万ユーロに急増
(c) 2020年4月23日の株主総会で提案（支払いは2020年5月7日）



「グランパリ・エクスプレス」計画15路線南工事（T3A区画ボン・ド・セーヴル駅）

グループ決算要旨

(単位：100万ユーロ)
IFRS第16号とIFRIC解釈指針第23号の適用により2018年度会計を再処理

連結貸借対照表

	2018 再処理数値	2019
資産の部		
非流動資産	20,879	20,239
流動資産	17,968	19,115
売却見込み保有資産 又は事業 (Smac社)	340	
資産合計	39,187	39,187

	2018 再処理数値	2019
純資産及び負債の部		
自己資本	11,032	11,800
非流動負債	8,744	8,108
流動負債	19,078	19,446
売却見込み保有事業 関連負債 (Smac社)	333	
純資産及び負債合計	39,187	39,354
純有利子負債	(3,612)	(2,222)

連結損益計算書

	2018 再処理数値	2019
売上高	35,555	37,929
調整前営業利益	1,564	1,676
その他営業収支	265	20
営業利益	1,829	1,696
純有利子負債費用	(216)	(207)
リース債務利息	(57)	(57)
その他金融収支	18	(10)
支払税	(426)	(452)
持分法投資損益等	302	350
調整前当期純利益	1,450	1,320
非支配株主に帰属する 当期純利益	(142)	(136)
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,308	1,184

連結キャッシュフロー計算書

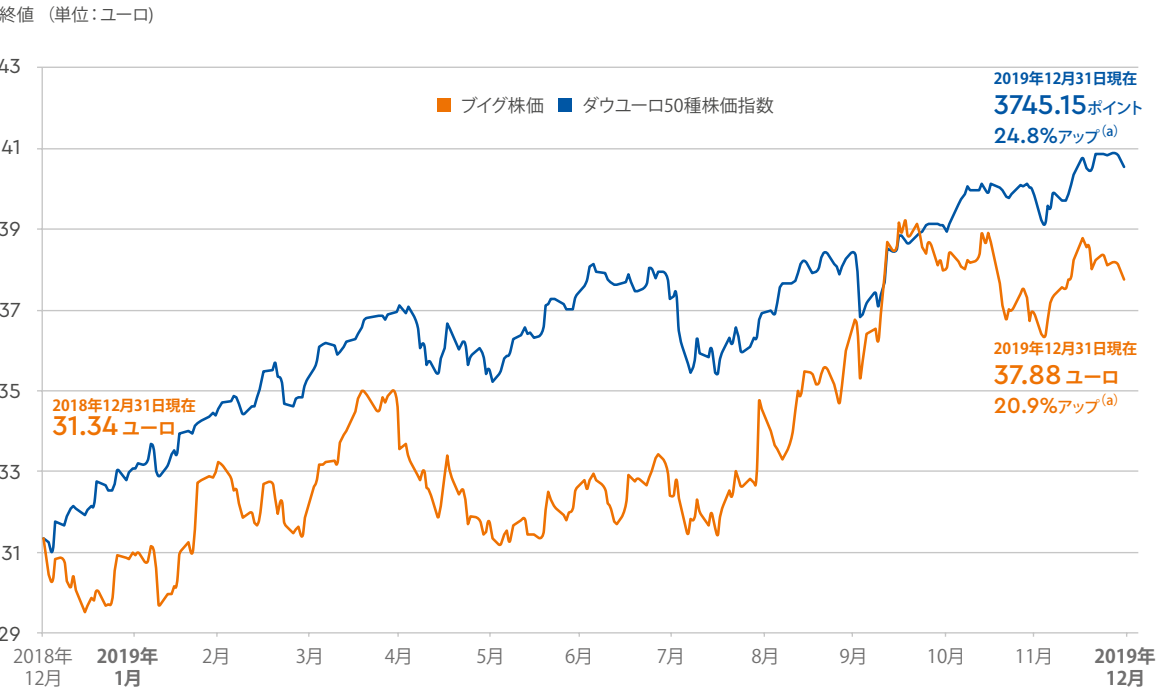
	2018 再処理数値	2019
グロスキャッシュフロー (純有利子負債費用、リース債務利息、 及び支払税額を控除)	2,709	3,332
純有利子負債費用と リース債務利息の再仕分効果	273	264
運転資金増減 (減価償却と短期性引当も算入)	(399)	(223)
A - 営業活動による キャッシュフロー	2,583	3,373
B - 投資活動による キャッシュフロー	(3,084)	(602)
C - 財務活動による キャッシュフロー	(1,475)	(2,195)
D - 現金及び現金同等物に 係る換算差額	54	88
増減額 (A + B + C + D)	(1,922)	664
キャッシュの期首残高	4,611	2,690
売却見込み保有事業 (SMAC社)	1	
キャッシュの期末残高	2,690	3,354

2020年度日程

4月23日木曜日 ブイグ株主総会 (「Challenger」ビルにて)	8月27日木曜日 2020年度上半期 の業績発表
5月7日木曜日 配当金支払い	11月19日木曜日 2020年度第3四半期 までの業績発表
5月14日木曜日 2020年度第1四半期 の業績発表	

ブイグ株式

2018年末以降の株価推移



株価と配当利回り

	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
終値 (単位：ユーロ)	27.42	29.98	36.54	34.04	43.31	31.34	37.88
1株当たり配当金 (単位：ユーロ)	1.6	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	2.6 ^{(a) (b)}
平均配当利回り	5.8%	5.3%	4.4%	4.7%	3.9%	5.4%	6.9%

(a) 0.9ユーロの特別配当金を含む
(b) 2020年4月23日の株主総会で提案 (支払いは2020年5月7日)

追加情報
決算結果に関する全有用情報



スマートフォンでQRコード
を読み取ってください

建設関連事業

人間の進歩をもたらすソリューション

建築、土木、エネルギー、不動産開発、交通インフラに関わる当事業においては、開発、建設、運営に至るまでをトータルに手がけています。世界的企業であるブイグは目下90ヶ国以上に進出してビジネス展開を図っています。

人口増加、都市化、さらには新たな環境問題のために、複合インフラや建造物の建設と改修に対する大きなニーズが生まれています。またその一方で、デジタル転換とテクノロジー転換によって、ユーザーの利用形態、期待、消費慣習にも変化が生じています。こうした状況にあって、ブイグは完璧かつ斬新な高付加価値ソリューションを提供しています。

2019年度主要データ



従業員数

11万7090人



総売上高

296億ユーロ



調整前営業利益

9億1000万ユーロ



受注残高

330億ユーロ

追加情報

- 2019年度総合記録資料
- 2019年度統合レポート



ブイグ・コンストラクションは世界トップクラスの建設企業として、建築、インフラ、及び産業の各分野において、様々な業務の企画、実施、改修、運営、解体を手がけています。

建築関連

住宅、大学、その他学校、病院、ホテル、オフィスビル、超高層ビルなど高層ビルなど

インフラ関連

橋梁、トンネル、鉄道施設、港湾施設、市街電車、地下鉄、スタジアム、空港、輸送施設、娯楽施設、港湾地帯、公共照明網など（場合により管理運営を含む）

産業関連

デジタル網インフラ、エネルギーインフラ、スマートシティ、電気エンジニアリング、環境エンジニアリング、機械エンジニアリング、再生可能エネルギー提案、法人向けサービスなど



従業員数
5万8149人
(2019年12月31日現在)

追加情報

- ウェブサイト bouygues-construction.com
- ツイッター @Bouygues_C

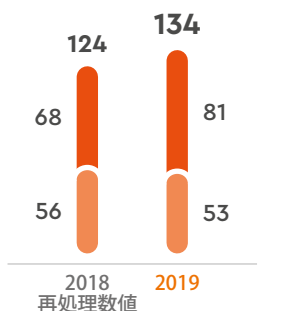


スマートフォンでQRコードを読み取ってください

IFRS第16号とIFRIC解釈指針第23号の適用により2018年度会計を再処理

売上高

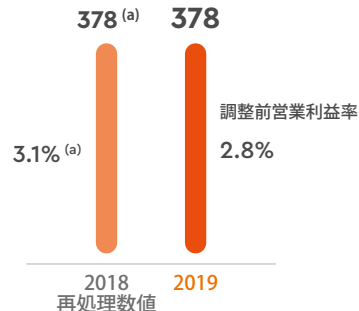
(単位：億ユーロ)



■ フランス国外 ■ フランス国内

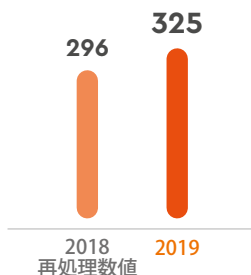
調整前営業利益

(単位：100万ユーロ)



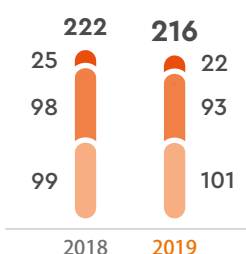
当期純利益

(単位：100万ユーロ)



受注残高 (b)

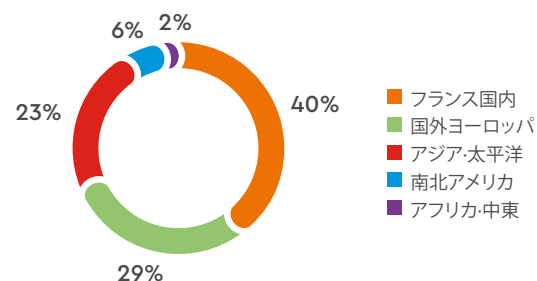
(単位：億ユーロ 12月末現在)



■ 5年後以降施工分
■ 2-5年以内施工分
■ 1年以内施工分

受注残高の地域別比率

(2019年12月末現在)



(a) Axione株譲渡益分と2018年保有株再評価分の合計1億600万ユーロを含む（調整前営業利益率は3.1%であるが数値を再処理した結果は2.2%となる）

(b) 調印され有効となった確定受注契約の実行予定処理済み分

リール・メトロポール・ヨーロッパの新拠点「Biotopie」（一部プレハブ部材で建設）



ホテルと住宅を併設する新たな複合建物「Belarolia」（モンペリエ中心部に所在）



スタッフの才覚を振り所に60ヶ国以上でノウハウを発揮



2020年ローザンヌユースオリンピックの選手1800人と同伴者を収容する学生寮「Vortex」



ブイグ・イモビリエは都市開発とアーバンデザインの先導企業として、人々がより快適なシティーライフを営めるようにするために、各地域と顧客のニーズに合った斬新で持続可能なソリューションを提供しています。

住宅関連

低価格帯から高価格帯までの多様かつ斬新な物件を提供

オフィスビル

プラスエネルギー型^(a)低炭素ビル「グリーンオフィス」、環境配慮型再開発ビル「リハグリーン」

都市整備

持続可能なミクスタウンの企画と実施（社会的紐帯と地域エコシステム同化を促進する身近な諸サービスを統合）

運営とサービス

コワーキングスペース^(b)「Wojo」（Accorホテルとの合併事業）、老人ホーム「Les Jardins d'Arcadie」（アルカディアの庭）、及びAveltys社（シュナイダーエレクトリックとの合併企業）による商業ビル



従業員数
1904人
(2019年12月31日現在)

追加情報

- ウェブサイト bouygues-immobilier.com
- ツイッター @Bouygues_Immo

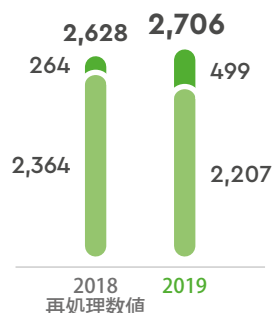


スマートフォンでQRコードを読み取ってください

IFRS第16号とIFRIC解釈指針第23号の適用により2018年度会計を再処理

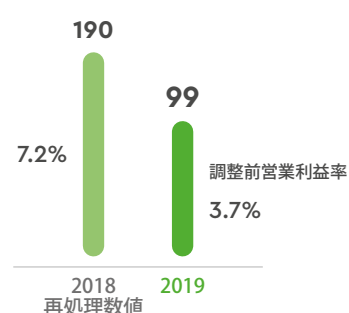
売上高

(単位：100万ユーロ)



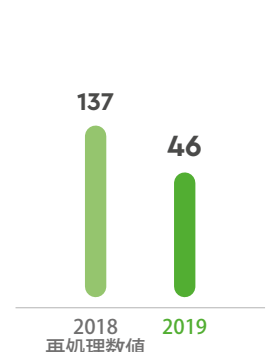
調整前営業利益

(単位：100万ユーロ)

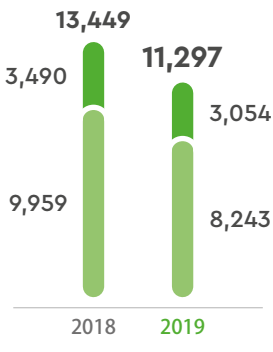


当期純利益

(単位：100万ユーロ)

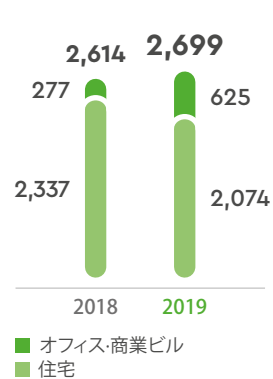


住宅予約販売数



予約販売高

(単位：100万ユーロ)



- (a) 熱エネルギー（又は電気エネルギー）を消費する量よりも生み出す量のほうが大きい建物（フランス語の略語は「Bepos」）
- (b) 必ずしも同一の経済セクターに属していなくても、サラリーマンや自営業者たちが利用することが可能な“第3の場所”のこと。そこでは人的交流を促して快適に仕事ができるように工夫されているが、何と云っても、自宅から職場までの通勤時間を減らせるのが利点になっている。



サン＝ジュリアン＝アン＝ジュヌヴォワ（オート＝サヴォワ県）の駅周辺整備プロジェクト



ブイグ・イモビリエの様々な不動産プロジェクトにおいて「やさしい交通」を推進



BBCA（低炭素ビル）認証を獲得したパリのプラスエネルギー型最高層商業ビル「Enjoy」



ストラスブールの木材100%低炭素マンション「Sensations」（国内最高層木造建築）

COLAS

交通インフラの施工と保守の世界的リーダーであるコラスは、「責任ある交通」のソリューションの促進を使命としています。

世界5大陸50ヶ国以上に進出して毎年7万件以上の施工をこなす一方で、建設資材の生産とリサイクル並びにアスファルトの販売を大規模に行っています。

道路施工

一般道路、高速道路、滑走路、港湾基地、物流基地、都市交通路、都市設備、公共交通専用レーン(市街電車やバスなど)、土木施設、及び道路安全標識の企画・建設・保守

建設資材

アスファルト、乳剤・結合剤、舗装材、骨材、生コンクリート

鉄道

インフラの企画、エンジニアリング、建設、刷新、保守



従業員数
5万7037人
(2019年12月31日現在)

追加情報

- ウェブサイト colas.com
- ツイッター @GroupeColas

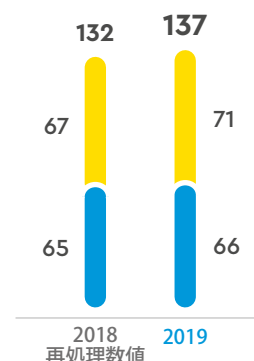


スマートフォンでQRコードを読み取ってください

IFRS第16号とIFRIC解釈指針第23号の適用により2018年度会計を再処理

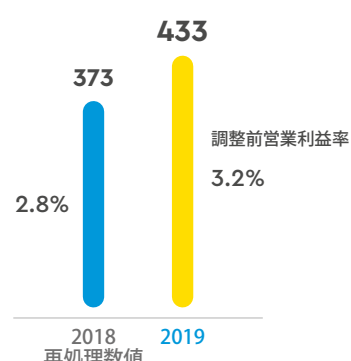
売上高

(単位: 億ユーロ)



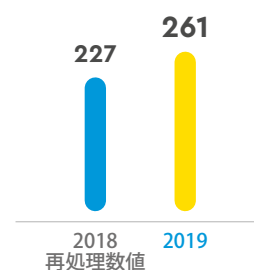
調整前営業利益

(単位: 100万ユーロ)



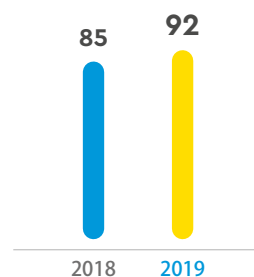
当期純利益

(単位: 100万ユーロ)

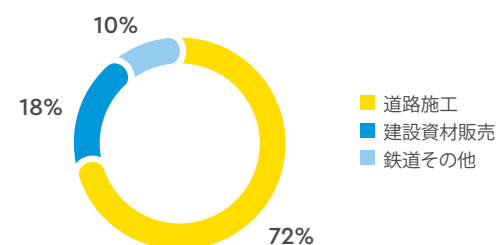


受注残高 (a)

(単位: 億ユーロ 12月末現在)



業務別売上高



(a) 調印され有効となった確定受注契約の実行予定処理済み分



拡張されるカレー港 (70万m²に及ぶ港湾基地を備える)



50ヶ国以上でプレゼンスを発揮



チリの首都サンティアゴの地下鉄工事



アイルランドの極めて通行量の多い高速道路M7の拡張工事 (車の流れをスムーズにして交通事故を減らすため)

メディア事業

社会を前向きに インスパイア

テー・エフ・アンは、情報番組や娯楽番組を一般大衆に提供しつつ、社会を前向きにインスパイア（鼓舞）したいと念じています。

フランスの先導的メディアグループとして幅広いコンテンツと関連サービスを提供しており、視聴覚及びデジタルプロダクションの点で確かな社会的認知を得ています。

2019年度主要データ



従業員数

3686人



売上高

23億3700万ユーロ



調整前営業利益

2億5500万ユーロ

追加情報

- 2019年度総合記録資料
- 2019年度統合レポート

当たりを取った歴史ドラマシリーズ
「Le Bazar de la Charité (ル・バザール・ド・ラ・シャリテ)」(Netflixの参画
を得てQuad Télévisionと共同制作)



ター・エフ・アンは「replay」^(a)の充実したサービスに加えて、「Salto」による加入方式のVOD（ビデオ・オン・デマンド）サービスを順次打ち出しています。また、コンテンツ制作やデジタルビジネスといった新成長分野への投資を進め、優れた放送局としての総合的ポジションの強化を図っています。

番組提供

- 5つの無料テレビ局（TF1、TMC、TFX、TF1 Séries Films、LCI）
- 4つの有料専門チャンネル（TV Breizh、Histoire TV、Ushuaïa TV、Serieclub^(b)）
- MYTF1 での番組デジタル配信と、MYTF1VOD や TFOU MAX によるVODサービス

娯楽関連など

- 主として Newen によるコンテンツの制作配給
- TF1 Entertainment による娯楽関連（音楽、演劇、ライセンス & 出版、ボードゲーム）と、TF1 Studio による映画ビジネス

デジタルビジネス (デジタルセンターUnify 活用)

- Aufeminin（女性向け）、Marmiton（料理レシピ）、Doctissimo（公衆衛生）などのコンテンツプロバイディング
- Gamned!、Studio 71、Vertical Station などのブランディングやアドバタイジング
- My Little Paris などの コミュニティ型 Eコマース

追加情報

- ウェブサイト groupe-tf1.fr
- ツイッター @GroupeTF1

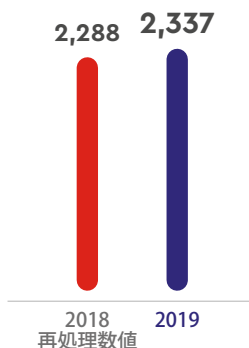


スマートフォンでQRコードを読み取ってください

IFRS第16号とIFRIC解釈指針第23号の適用により2018年度会計を再処理

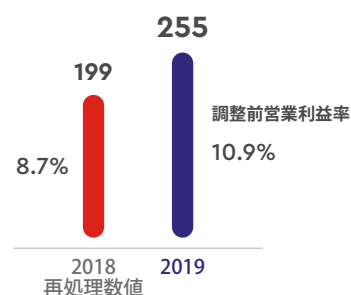
売上高

(単位: 100万ユーロ)



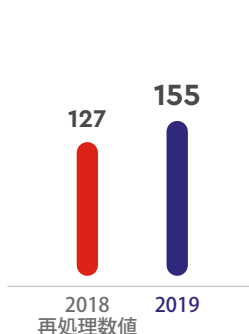
調整前営業利益

(単位: 100万ユーロ)



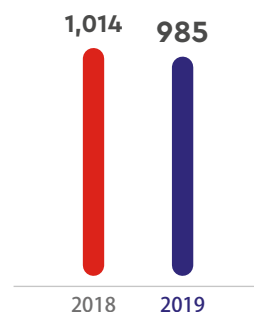
当期純利益

(単位: 100万ユーロ)



無料テレビ局^(c)番組関連費

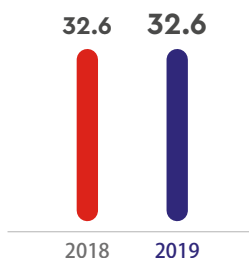
(単位: 100万ユーロ)



TF1グループの視聴率^(d)

(単位: %)

購買決定者の50歳未満女性



(a) 見逃し番組の視聴を可能にするシステム

(b) テー・エフ・アンが同社株の50%を保有

(c) TF1、TMC、TF1 Séries Films、TFX、LCI の5局

(d) データは Médiamétrie（年平均値）



人気最高の連続テレビドラマ
「Demain nous appartient
「明日は我らのもの」」
で主演する女優のイングリッド・ショヴァン



朝の情報番組「La Matinale」
(LCI局)で司会を務める
女性ジャーナリストのパスカル・ド・ラトゥール・デュバン



応援するテレビ視聴者が
1070万人に達した
フランスサッカー女子代表
(愛称「レブル」)



エンターテインメントの
復権を象徴する家庭向け
歌謡番組「Mask Singer」
が大ヒット

通信事業

一緒にいられるための簡単接続



ショッピングセンター「La Part-Dieu」
(リヨン) 内のショップ

ブイグ・テレコムスタッフたちは20年以上も前から、通信技術の活用によって親しい人同士のつながりを強めるだけでなく、新たな人間の絆を生み出して行けるように全力を傾けてきました。

目下2200万人のカスタマーのニーズに応えられる優れた通信ネットワークと各種サービスの提供こそは、ブイグ・テレコムが達成すべき大きな目標なのです。

2019年度主要データ



従業員数

8937人



売上高

60億5800万ユーロ



リース債務利息払後EBITDA^(a)

14億1100万ユーロ

追加情報

- 2019年度総合記録資料
- 2019年度統合レポート

(a) 一般的EBITDAは支払利息・税金・減価償却・償却控除前利益（すなわち 調整前営業利益 + 減価償却費等）



フランスの主要通信事業者ブイグ・テレコムは、通信ネットワークへの最適な接続方式を個人と法人に提供しています。すなわち、超高速ブロードバンド、4G、光ファイバーといったデジタルテクノロジーを全国展開して、シンプルでスムーズなカスタマー・エクスペリエンス（顧客体験）をお届けしているのです。2020年の夏には5Gネットワークの開設も予定しています。

優れたネットワークとカスタマー・エクスペリエンス

- 4Gのモバイルネットワークでは、田園地帯で第1位、全国レベルで第2位を2年連続維持^(a)
- 固定とモバイルの両方でコストパフォーマンスの良いサービスを提供
- 2019年末までに1200万世帯近くに及ぶFTTH^(b)の新規顧客の囲い込みを目標にして光ファイバー網の基盤拡張
- ショップ対応、電話対応、ウェブサイト対応の違いを問わず、カスタマー・エクスペリエンスの充実に向けて統一的に注力

全タイプの固定及びモバイルソリューションを法人向けに提唱

- 法人向け分野で業界第3位
- モバイルソリューションと統合的通信サービス、中堅企業と大企業向けサービスによる接続充実化
- 零細企業と中小企業向け分野で展開を加速

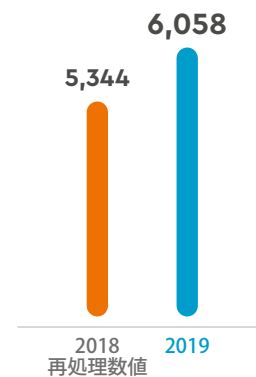
追加情報

- ウェブサイト bouyguetelecom.fr
- ツイッター @bouyguetelecom

IFRS第16号とIFRIC解釈指針第23号の適用により2018年度会計を再処理

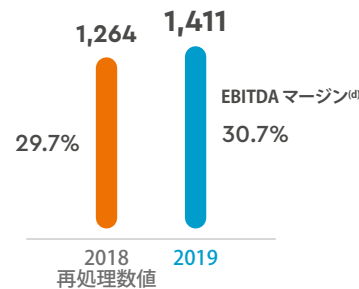
売上高

(単位: 100万ユーロ)



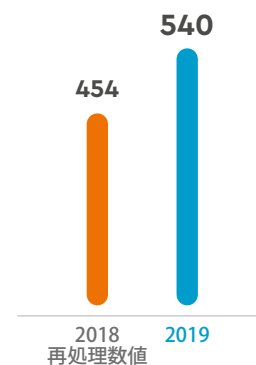
リース債務 利息払後 EBITDA^(c)

(単位: 100万ユーロ)



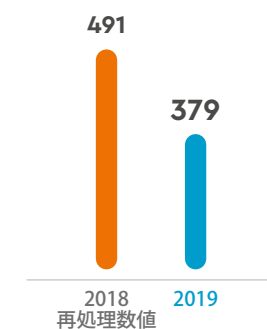
調整前営業利益

(単位: 100万ユーロ)



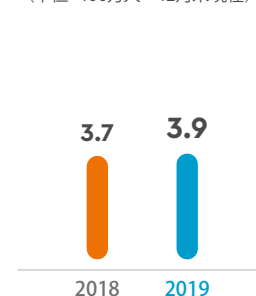
当期純利益

(単位: 100万ユーロ)



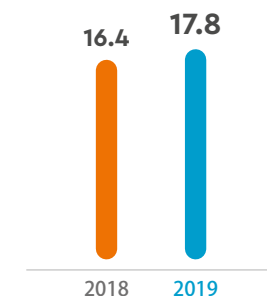
固定ブロードバンド ユーザー

(単位: 100万人 12月末現在)



モバイルユーザー

(単位: 100万人 12月末現在)



- (a) Arcep (フランス電子通信郵便規制庁) によるランキング
 (b) FTTH (Fibre To The Home=光ファイバーを契約家庭へ) のサービス
 (c) 一般的EBITDAは 支払利息・税金・減価償却・償却控除前利益 (すなわち 調整前営業利益 + 減価償却費等)
 (d) サービス関連収入高に対する リース債務利息払後EBITDA の比率

シンプルでスムーズなカスタマー・エクスペリエンス

スタッフの97%が「自己のベストを尽くす」という目標を共有

ブイグ・テレコムの店舗責任者コリーヌさん

« Papa, tu peux garder Léa ce matin? »

on est fait pour être ensemble

2020年度は人々の関係を一層広げることに注力

持続可能な スマート交通の パイオニア



水素燃料を使うためCO₂を全く排出しない都市間旅客列車

ALSTOM
• mobility by nature •

よりクリーンでよりスマートな交通にコミットするアルストムは、環境に一層配慮にしながら世界中をつなげる交通を先頭に立って推進しています。そのため、交通設備、関連サービス、超高速列車、地下鉄、市街電車、「e バス」、統合システム、特注サービス、インフラ、信号標識、デジタル交通ソリューションまでオールラウンドに扱っています。

アルストムは、各種車両、交通システム、信号標識、及び関連サービスの4つを軸にしてビジネスを展開しています。

各種車両

高速鉄道、長距離列車、都市交通までの全分野をカバーする包括的交通ソリューションを提供しています。高速鉄道としてはAvelia™シリーズ、長距離列車としてはCoradia™シリーズや旅客機関連車Prima™、さらに都市交通としては電気バスAptis™、郊外電車X'Trapolis™、路面電車Citadis™、トラムトレインCitadis Dualis™、地下鉄Metropolis™が挙げられます。

また、世界初の水素エネルギー旅客列車Coradia iLint™は、非電化路線の展開を目指す鉄道会社に対して、ディーゼル車両の本格的代替可能性を示すものになっています。

交通システム

鉄道体系を構成するあらゆる要素（列車、情報システム、信号標識、インフラ、メンテナンス）をマネジメントできる統合的ソリューションを提案するために、様々な専門領域を扱う製造業者としての全ノウハウを結集しています。

インフラ

電気機械資材の供給、鉄道の電化、軌道施設等のための全タイプの持続可能なソリューションをもたらします。

統合システム

都市統合システムのトップ企業である強みを生かして、都市輸送と幹線運行の両分野において完璧なアプローチを建議します。

信号標識

交通各社とインフラ管理業者に対して、安全かつスムーズに旅客と積荷を輸送する手段を供与して、都市交通網や幹線網の効率を最大化しています。また、旅客の安全確保のための方策と交通網管理のための制御センターを展開しています。

関連サービス

列車、インフラ、鉄道制御システム等にきめ細かく対応した一連のサービス（メンテナンス、近代化、予備部品供与、技術援助）の提供を通じて、全ての顧客をバックアップしています。

当年度第3四半期 までのハイライト

(2019年4月1日－2019年12月31日)

- 贈収賄防止マネジメントシステムに関する AFAQ ISO 37001 国際認証を取得
- 世界の代表的なESG投資指標Dow Jones Sustainability Index (DJSI)の構成銘柄に9年連続して選定
- 世界最大数の水素エネルギー列車をドイツで受注
- オーストラリアのパース鉄道網向け車両の製造と保守に係る過去最大の契約を受注
- カナダのボンバルディア社とのコンソーシアムの形で、新世代地下鉄向け44車両の納入契約をÎle-de-France Mobilités [イル＝ド＝フランス・モビリティ]とパリ交通公団 RATPより受注 (将来最大410車両まで増産可能性を見込む)

2018年度主要データ

(2018年4月1日－2019年3月31日)

従業員数

3万6300人

受注高

121億ユーロ

売上高

81億ユーロ

調整営業利益率^(a)

7.1%

当期純利益

6億8100万ユーロ

(a) 次の4点を加味した営業利益率のこと。すなわち①再構築及び合理化正味費用、有形及び無形資産減価償却、②株式譲渡又は支配権変更に伴う譲渡損益又は株価再評価、③企業再編における発生費用又は保有株価却見積額などの非経常要因、④通常業務範囲外の法的手続関連費用

GROUPE BOUYGUES

【ブイググループ】

32 avenue Hoche

F-75378 Paris cedex 08

Tel.: +33 (0)1 44 20 10 00

bouygues.com

Twitter: @GroupeBouygues



BOUYGUES CONSTRUCTION

【ブイグ・コンストラクション】

Challenger

1 avenue Eugène Freyssinet - Guyancourt

F-78061 Saint-Quentin-en-Yvelines cedex

Tel.: +33 (0)1 30 60 33 00

bouygues-construction.com

Twitter: @Bouygues_C

BOUYGUES IMMOBILIER

【ブイグ・イモビリエ】

3 boulevard Gallieni

F-92445 Issy-les-Moulineaux cedex

Tel.: +33 (0)1 55 38 25 25

bouygues-immobilier-corporate.com

Twitter: @Bouygues_Immo

COLAS

【コラス】

1 rue du Colonel Pierre Avia

F-75015 Paris

Tel.: +33 (0)1 47 61 75 00

colas.com

Twitter: @GroupeColas

TF1

【デー・エフ・アン】

1 quai du Point du jour

F-92656 Boulogne-Billancourt cedex

Tel.: +33 (0)1 41 41 12 34

groupe-tf1.fr

Twitter: @GroupeTF1

BOUYGUES TELECOM

【ブイグ・テレコム】

37-39 rue Boissière

F-75116 Paris

Tel.: +33 (0)1 39 26 60 33

corporate.bouyguestelecom.fr

Twitter: @bouyguestelecom



発行: 2020年2月・編集:ブイググループ広報部・翻訳:小川隆久

デザイン&制作:TERRE DE SIENNE・印刷:セヌーサン＝ドニ県DEJA LINK 印刷所 (Imprim'Vert 環境配慮印刷認証、FSC®/PEFC 森林認証、及びCoC加工流通過程認証取得)・印刷部数は必要分だけに限定しています。この冊子はなくさないようにし、また廃棄する場合は用紙のリサイクルを心がけてください。この事業概要は、デジタルタブレット (iOSとAndroid) 向けのブイグアプリで閲覧できます。2019年度総合記録資料は2020年3月20日より、ブイグのウェブサイト (www.bouygues.com) とブイググループ従業員ポータルサイトで閲覧できます。2019年度統合レポートは2020年4月23日より閲覧できます。

写真クレジット: C. Abad (p. 23); Agence Veodi (p. 28); J. Alvarez/Drone Permission (p. 19); BETC/Bouygues Telecom (p. 7, 31); N. Bilay/Shutterstock Custom (表紙); Birdeyecam (p. 2); D. Bleuset (p. 21); Blue Iris Photography (p. 16); C. Chevalin (p. 11, 24); C. Clanet (p. 5); J. Cresp (裏表紙); A. Da Silva/Graphix-Images (p. 11); B. Demarle (p. 19); DronePhotography (p. 23); S. Dupontrenoux (p. 5); A. Février (p. 13, 23); T. Francius/Shutterstock Custom (p. 31); D. Giannelli (p. 7); M. de Groot (p. 31); N. Grosmond (p. 19); M. Hayfa (p. 11); N. Imre (p. 7, 23); F. Keyser (p. 12); LLBJV (p. 11); S. Loubaton/Capa Pictures (p. 1, 7); F. Malot (p. 27); D. Manin (p. 27); Y. Manach/Capa Pictures (p. 19); Photos personnelles/FFF/TF1 (p. 27); M. Stange (p. 5); S. Tétu (p. 5, 21); A. S. Wittwer (p. 32); L. Zylberman (p. 21)。アーキテクト&ハースペクティブ担当者: Arep (p. 21); Baumschlager-Eberle architectes et Scape (p. 21); Antony Bechu - Urbaniste François Leclercq (p. 11); Jean-Pierre Dürig (p. 19); Manuelle Gautrand Architecte (p. 19); Henning Larsen Architects - Keurk Architecture (p. 19); IF Architectes (表紙, p. 31); KOZ architectes & ASP architecture (p. 21); Valode & Pistre architectes (p. 7)。

老若男女を問わず誰もがより良い日常生活を送れるように、私たちはお客様と一緒に行動しています。そして世界各国や様々な街のニュースに耳を傾け、そこに住む人たちの生活習慣を注意深くフォローしています。世の慣習をきちんと理解して初めて、各人が感じているニーズにうまく応えることができるからです。

私たちは尊重心と信頼感を育む環境下で信念に従って日々行動しつつ、社会全体に裨益する持続可能なかつ具体的なソリューションをお届けしています。

人々との友好的な対話を通じて私たちは自らの創造力を養っています。こうした協働精神を持つことによってこそ、人間の進歩の途上で立ち現れてくる様々な課題にしかるべく取り組めるようになるはずです。

私たちは自らの理念を具現化するに当たっては、関係者全員の安全と健康並びに環境保護に配慮を怠らないように心がけています。

BOUYGUES

Making progress become reality